

[1] 授業内容

- 模擬授業の準備
- 【演習】模擬授業に向けて指導案を作成

[2] 学習指導案について

各授業単位の具体的な指導計画のこと

- 指導する各学級の生徒の実態及び社会や教科の系統上の要求を踏まえる
- 細かい内容まで作成する（教師の支援活動，生徒の学習活動，評価活動，教材など）

特に定められたフォーマットはない

- 誰が読んでも理解できる必要性

他の学習指導案を参考にすることも大事

- 良い学習指導案を参考にすることは大事
- 他人にわかりやすい学習指導案を作成すること
- 年間計画でどの部分をやるのか明確にしていること

指導案は絶対ではない！

- トラブルはつきもの
- 指導案通りに授業をしなければならないということはない

他の学習指導案を参考にすることも大事

- 良い学習指導案を参考にすることは大事
- 他人にわかりやすい学習指導案を作成すること
- 年間計画でどの部分をやるのか明確にしていること

書くべきこと（絶対ではない）

- 目標（単元の目標と本時の目標）
- 生徒観
- 使用する教材（準備物）
- 展開
- 板書計画
- 単元別の評価（第8回講義）

[3] 授業の構成

- 指導案は通常 50 分、短縮授業 40 分を目安に作成する
- 模擬授業などでは 5 分、10 分、15 分を目安に作成する
 - 導入→展開→まとめ
- 決められた時間で 1 つのストーリーとなるように
- 「主体的な学習」を考えた授業の展開に

[4] 模擬授業に向けて

(1) 時間

- 1 人当たり 30～40 分を目安に（人数によりけり）

(2) 指導案

- 50 分の授業案を作成し、どこを模擬授業するのかを示す
- 特に、フォーマットの指示はなし
- 生徒の授業観
 - ① 授業は聞いているが発言などのないクラス
 - ② 体育の授業の後で、元気が有り余っているクラス
 - ③ 前のほうで寝ている生徒が多いクラス
 - ④ 10 分程度するとざわざわしてしまうクラス

[5] 演習

- 模擬授業に向けて授業指導案を作成する。
- 授業を始めるためには導入が必要になることもあるので、導入を考えてみる

[6] 課題

1. 模擬授業・授業を行うにあたって、以下のような場面があった場合に、あなたはどのように授業を進行していくのか考えよ
 - ① 授業中に特に騒いでいるわけではなく、スマートフォンを触っている生徒がいるクラス
 - ② ざわざわしており、授業の進行が難しい状況
 - ③ 昼休み後、寝ている生徒が 1/3 の状況
2. 前回の課題を採点せよ

提出：Google Form

締め切り：日曜日

情報科教育法a

第10回

28 and 29 June 2021 1

1

スケジュール

授業回数	大宮	枚方	内 容
1	4/13	4/12	ガイダンス、教科「情報」の構成と教員免許について
2	4/20	4/19	情報教育の成立過程
3	5/10	5/9	学習指導要領と情報教育
4	5/17	5/16	教材研究
5	5/24	5/23	教材研究
6	6/1	5/31	教材研究
7	6/8	6/7	授業設計の視点と流れ
8	6/15	6/14	教育目標と評価
9	6/22	6/21	テストと評価
10	6/29	7/28	授業指導案の作成について
11	7/6	7/5	模擬授業（指導案）
12	7/13	7/12	模擬授業
13	7/20	7/19	模擬授業
14	7/27	7/26	まとめ

28 and 29 June 2021 2

2

本日の内容

- 前回のテストについて
- 模擬授業のための指導案づくり
- 【演習】指導案を作る

28 and 29 June 2021 6

6

指導案とは

- 各授業単位の具体的な指導計画のこと
 - 年間計画と結びつきがある（第7回）
 - 1時間のみ指導案を考えるのではなく、**流れ**を考える
- 指導する各学級の生徒の実態及び社会や教科の系統上の要求を踏まえる
 - 同じ授業単位でもクラスによって変えるべき

28 and 29 June 2021 7

7

指導案とは

- 特に定められたフォーマットはない
 - 誰が読んでも理解できる必要性
- 他の学習指導案を参考にすることも大事
 - 良い学習指導案を参考にすることは大事
 - 他人にわかりやすい学習指導案を作成すること
 - 年間計画でどの部分をやるのか明確にしていること

28 and 29 June 2021

8

8

指導案とは

- 細かい内容まで作成する(教師の支援活動, 生徒の学習活動, 評価活動, 教材など)
- 指導案は絶対ではない!
 - トラブルはつきもの
 - 指導案通りに授業をしなければならないということはない

28 and 29 June 2021

9

9

指導案の内容

- 書くべきこと(絶対ではない)
 - 目標(単元の目標と本時の目標)
 - 生徒観
 - 使用する教材(準備物)第4~6回講義
 - 展開
 - 板書計画
 - 単元別の評価(第8回講義)

28 and 29 June 2021

10

10

模擬授業と授業の指導案

- 指導案は通常50分、短縮授業40分を目安に作成する
- 模擬授業などでは5分、10分、15分を目安に作成する
 - 導入→展開→まとめ(3構成)
- 決められた時間で1つのストーリーとなるように
- 「主体的な学習」

28 and 29 June 2021

11

11

ガニエの9教授事象

事象	No	内容
導入	1	学習者の注意を喚起する
	2	学習者の目標を知らせる
	3	前提条件を確認する
展開	4	新しい事項を提示する
	5	学習の指針を与える
	6	練習の機会を設ける
	7	フィードバックする
まとめ	8	学習の成果を評価する
	9	保持と転移を高める

28 and 29 June 2021

12

12

主体的・対話的で不快学びの実現のためのポイント

表 2-5 主体的・対話的で深い学びの実現のためのポイント (稲井, 2019)

- 活動させればよい、調べさせればよいということではない。
- はじめから「学習活動ありき」ではない。
- 言語活動主義に陥らないように努めることが大切である。
- 「教師が教えること」と「学習者が考えること」を明確に意識して授業をデザイン (設計) する。
- 「良質な問い」と「良質な言語活動」が必要である。
- 生徒の疑問から「問い」を導くことから始める。
- 「問い」は学習者が立てられることが理想である。
- 自ら「問い」を立てられるようにするためには、段階的な指導が必要である。
- 教師が待つことも大切である。
- 学習者の気づき、変容を重視する。
- 自己評価、相互評価を取り入れ、気づいたことを言語化する。
- 学習後には「～ことに気づいた」「～ことが分かった」と振り返る。

28 and 29 June 2021

13

13

探求的な学習の段階

表 2-6 探求的な学習の段階 (稲井, 2019)

第1段階	学習の動機付けを図る学習「出会う」
第2段階	基礎・基本の知識を習得する学習「知る」
第3段階	興味や関心、知識を深める学習「深める」
第4段階	問いや課題を絞り込む学習「つかむ」
第5段階	情報を取捨選択し、活用する学習「生かす」
第6段階	情報を活用し、目的に合わせて加工する学習「選ぶ・まとめる」
第7段階	発信する学習「伝える」

28 and 29 June 2021

14

14

演習1

- 模擬授業に向けた指導案を作る
 - 50分の授業案を作成してみよ(そのうち30分のどこをするのか囲う)
 - 特に、フォーマットの指示はなし
 - PDFかWORDで提出
- 提出: Google Form
- 締め切り: 締め切り: 日曜日19時
- 生徒観(雰囲気)は以下から選んで、その生徒がいる想定で模擬授業を行つ
 - ① 授業は聞いているが発言などのないクラス
 - ② 体育の授業の後で、元気が有り余っているクラス
 - ③ 前のほうで寝ている生徒が多いクラス
 - ④ 10分程度するとざわざわしてしまうクラス

28 and 29 June 2021

15

15

演習2

- 授業を始めるためには導入が必要になることもある
- そこで、1分～2分程度で授業の導入となる話を考え来週の頭に発表する
- ただし、どんな分野の授業をするのかなども考慮した話題を提供すること

2020 07 10 FRI 人工知能 (AI) ニュース

映像から車のナンバープレートをAIで消し込むサービス 改正個人情報保護法に対応

<https://ledge.ai/delete-number-plate-ai/>

28 and 29 June 2021

16

16

課題

1. 模擬授業・授業を行うにあたって、以下のような場面があった場合に、あなたはどのように授業を進行していくのか考えよ
 - ① 授業中に特に騒いでいるわけではなく、スマートフォンを触っている生徒がいる状況
 - ② ざわざわしており、授業の進行が難しい状況
 - ③ 昼休み後、寝ている生徒が1/3の状況
2. 前回の課題を採点せよ

- 提出: Google Form
- 締め切り: 日曜日19時

28 and 29 June 2021

17

17